

歴史を知って多くの人に三原を愛してもらいたい

歴史的な文化財が多く残る三原市。そんな歴史あるまち三原の魅力を「もっとよく知り、多くの人も知ってもらいたい」と活動している人たちがいます。みはら歴史と観光の会の皆さんです。平成3年に会が発足し、現在は約220人の会員がいます。会では「自分たちが三原の歴史について詳しくなければ、人に伝えることはできない」という考えから、定期的に勉強会を開催。三原市史などの書物を読み解いたり、市



みはら歴史と観光の会の皆さん

以上を発行してきた。全ての号が宝物」と事務局長の鈴木健次さんは振り返ります。皆さんは、多くの人に三原の歴史を知ってもらおう活動にも力を入れてきました。史跡の周りの草刈りを行ったり、案内板を設置したりするなど、史跡を訪れる人が増えるように環境を整備。また、会員が歴史的な文化財を案内するイベントや外部講師による歴史講演会を開催するなど、三原の歴史の魅力を伝えてきました。

内外の史跡を見て回ったりするなど、勉強を重ねてきました。また、個々の会員が行なった歴史研究の成果を全員で共有し、残していくため、会報「わが町三原」を毎月発行してきました。「これまで340刊

▶毎月発行している会報「わが町三原」



「最近、未来の三原を担う子どもたちに歴史を伝えていきたいという思いが強くなってきている」と鈴木さん。子どもたちを対象にした催しの構想を練っています。今月27日には、三原浅野氏入城400年記念行事として、江戸時代に描かれた絵図を頼りに各所に残る三原城の石垣などを巡るイベントを開催する予定です。「歴史を知る面白さを感じてもらえれば」と皆さんは笑顔で話します。多くの人に三原の歴史を知ってもらい、もっと三原のことを好きになってもらえるよう、会の活動は続きます。※活動内容など詳しくは「つなごうねっと」のHPを参照。

※このコーナーでは、まちをもっと元気にしようと頑張っている人や団体を紹介します。

三原市の人口(8月31日現在)	
※外国人住民を含む。	
※( )内は前年同月との比較。	
世帯数	43,629 世帯 (-79)
人口	93,280 人 (-1,450)
男	44,789 人 (-569)
女	48,491 人 (-881)
人口移動の詳細については 広島県 人口移動 月報 で 検索	

税などの納期(普通徴収)	
○市県民税(第3期)	
○国民健康保険税(第4期)	
○介護保険料(第4期)	
○後期高齢者医療保険料(第4期)	
納期限	31日(木)まで
夜間収納・証明書交付業務の窓口(19時まで)	
	毎週木曜日
航空機の騒音測定結果(8月分)(Lden)	
▶正広局(本郷町善入寺正広)	=48.2
▶本郷局(本郷町船木川西上)	=53.5

今月の表紙 \ クローズアップ! /

須波小学校の児童と受け入れ家族の皆さん



今月の表紙はナスの収穫を体験する須波小学校の児童です。同校の5年生が9月10日～13日、大和町で、民泊をしながら農業の大切さや地域文化などについて学ぶ「農山村生活体験ホームステイ」に参加しました。野菜の収穫や乗馬などを体験するとともに、受け入れ家族の皆さんと交流しました。

あ・と・が・き  
彼を知り己を知れば百戦殆うからず。有名な孫子の兵法の一節で、スポーツやビジネスの世界で取り上げられる機会が多い言葉です。特集の取材でイノシシ対策に取り組む地域の人たちとお会いした時、まさにこの言葉が思い浮かびました。皆さんから「イノシシや自分たちの地域のことを知らなければ対策はできない」という話を聞き、「よく知り、行動する」ことの大切さを改めて感じました。猪突猛進になりがちな私。しっかりと状況を分析し、行動できるようにしなければ(F)